

「回復期リハビリテーション病院への転院患者における栄養量の充足状態」

1. 研究の対象

2020年1月1日～2021年12月31日までに当院を受診し、脳卒中と診断され回復期リハビリテーション病院へ転院された患者さん。

2. 研究目的・方法・期間

【研究目的】

回復期リハビリテーション病院へ入院される患者の37.7%に低栄養が認められたとの報告があり、急性期での栄養管理の重要性が指摘されております。リハビリテーションの効果を最大化するためには適切な栄養管理は必要不可欠である。特に体重の変化はADLの改善に影響することが報告されている。そのため当院で活用されることの多い必要栄養量（標準体重×25kcal）にて、体重減少が抑制できていたかを検証することにより適切な栄養管理に繋げていきたいと考えております。

【研究方法】

栄養量の充足群（標準体重×25kcal）、非充足群に分類し、各群の体重変化量の平均値を比較します。

【研究期間】

倫理委員会承認後から2023年12月31日

3. 研究に用いる資料・情報の種類

本研究では、当院の診療録から、入院されていた患者さんの情報を収集します。収集する情報は、性別、年齢、疾患分類、入院時身長、体重測定の有無、入院時・退院時の体重、BMI、退院時提供カロリー、退院時の摂取栄養量、必要栄養量（標準体重×25kcal）、必要栄養量に対する充足（必要栄養量に対する摂取栄養量の充足）の有無、リハビリ開始までの日数、在院日数までの日数です。

4. 個人情報の取扱いについて

患者さんのカルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名およびIDを削除し、個人を特定できないようにします。また、それらの抽出データは、外部ネットワークと切り離されたパスワードロックのかかるパソコン上に保存します。この研究で得られた情報は研究責任者（森田 曜）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。なお、本研究において得られた情報は、院外への発表が行われてから5年保管し、適切に廃棄します。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究の結果は2023年に開催される学会で報告します。

研究結果および報告内容に関しては、仮名化し個人情報特定できないよう配慮し、今回の研究目的以外に使用することはありません。

6. 研究組織

研究責任者

近江八幡市立総合医療センター リハビリテーション技術科 森田 曜

研究担当者

近江八幡市立総合医療センター	診療部脳神経外科	中島 正之
近江八幡市立総合医療センター	診療部脳神経内科	松尾 宏俊
近江八幡市立総合医療センター	リハビリテーション技術科	中川 響
近江八幡市立総合医療センター	リハビリテーション技術科	岡部 雅斗
近江八幡市立総合医療センター	看護部	佐野 房子
近江八幡市立総合医療センター	栄養管理科	小見山 こず恵

7. お問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。

また、本研究対象に該当するかたで、本調査へのご了承が得られない場合（診療録を見られたくないなど）は、下記の連絡先までお申し出ください。なお、了承の有無にかかわらず、患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究に了承いただけない場合の連絡先】

近江八幡市立総合医療センター リハビリテーション技術科 森田 曜

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町 1379 番地 TEL 0748-33-3151